

IT革命への 国の政策



目次

- IT革命ってなに？
- 日本のIT革命
- IT基本法
- e-Japan 戦略
- e-Japan 戦略 II
- e-Japan 戦略 II 加速化パッケージ
- IT政策パッケージ-2005
- u-Japan政策
- まとめ

IT革命ってなに？

情報化社会(information society)を象徴する言葉。



情報が物質やエネルギーと同等あるいはそれ以上の重要な資源となり、その価値を中心に社会・経済が発展していく社会

情報技術の進歩は社会を大きく変えつつあることから、18世紀の産業革命にならい、IT(情報技術)革命と呼ぶ。

日本のIT革命①～始まり～

1970年代…基本技術開発に支えられたエレクトロニクス技術
・通信技術の急速な発展(高度情報化現象)により
工業化社会から情報化社会へと移行しつつあると
指摘される。

1990年代…PC機能の高度化、ネットワーク接続により複雑で
高度な作業が可能になる。インターネットにより
情報化が加速。特に90年代半ばから急速に全世界に
拡大、瞬時に双方向での大量の情報交換が可能。

日本のIT革命②～バブル崩壊による遅れ～

1990年代後半…バブルの崩壊と平成不況により産業界はIT投資に消極的になり、IT革命の波に乗り遅れる。国際競争力の低下につながり、米国どころか東南アジア諸国諸地域と比較しても遅れをとってしまう。

この出来事から日本政府がIT革命に乗り出す

IT基本法

IT基本法

【概要】

2000年11月「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法」(IT基本法)が成立、2001年1月から施行。

【定義(要約)】

ITを駆使して国民がネットワーク通信の利便性を享受できる環境の形成と、創造的で活力のある社会の確立を実現するための理念

IT基本法

- ・ ネットワークの拡充
- ・ ネットワークの安全性・信頼性確保
- ・ コンテンツの充実
- ・ 個人情報保護
- ・ 情報活用能力の習得
- ・ 創造的な研究開発
- ・ 電子政府及び電子自治体

e-Japan戦略

①e-Japan戦略とは

IT基本法により設置されたIT戦略本部によって2001年1月に取りまとめられた戦略のこと。

IT基本法 の目的を実現するため、2005年までに世界最先端のIT国家 となることを目標に、基本理念と重点政策分野を示した。

e-Japan戦略 目標

(a)超高速ネットワークインフラ整備
(2005年まで)

(b)電子商取引の促進 (2002年まで)

(c)電子政府の実現 (2003年まで)

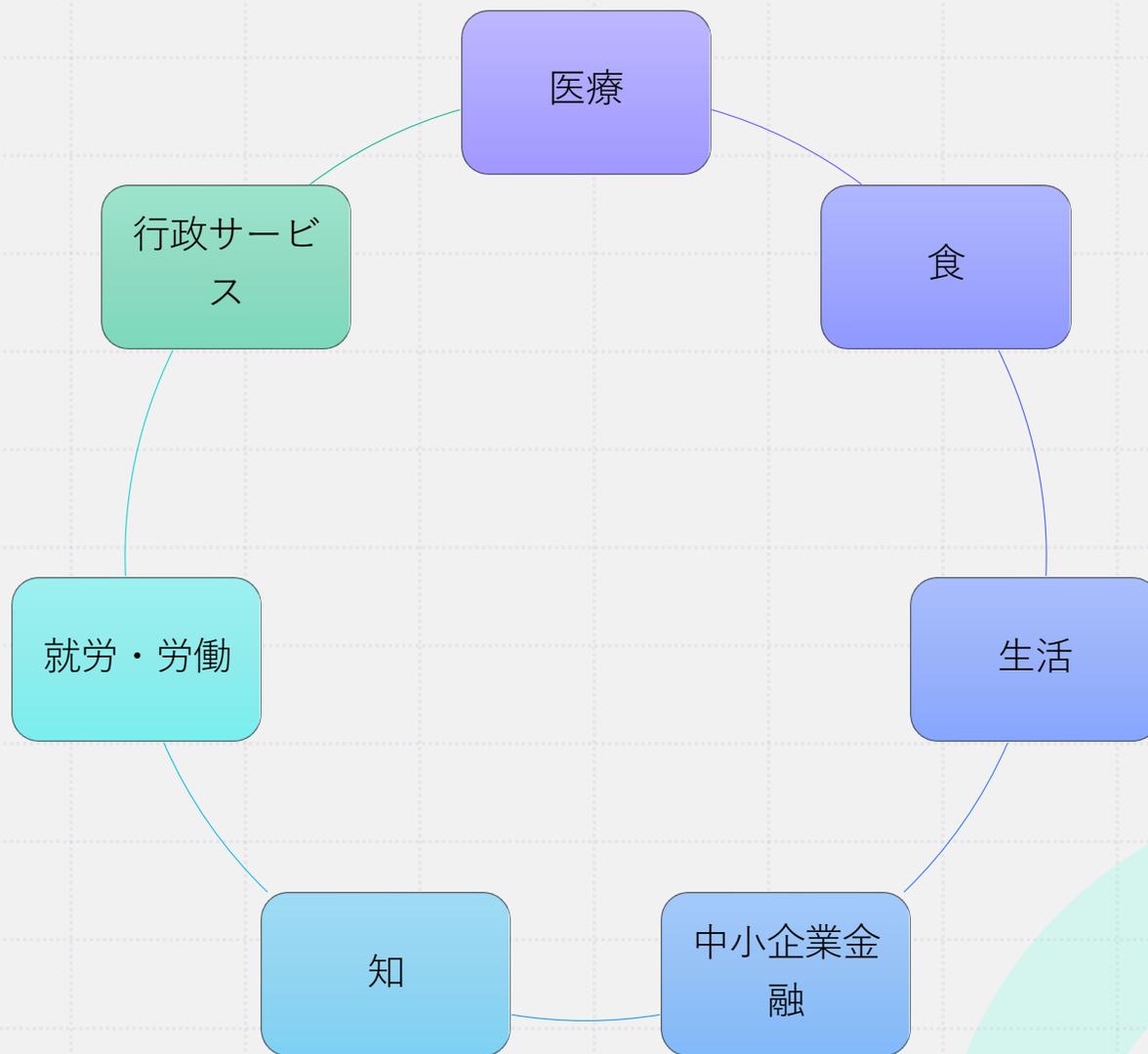
(d)人材育成の強化 (2005年まで)

e-Japan戦略 II (2004~ u-Japanに名称変更)

インフラの整備は順調に進む一方、行政の効率性の分野では未だ国際的に遅れており、ITインフラだけでなく経営全般の改革・推進が課題に…

**インフラを活用し、国民が便利さを実感できる
仕組みを構築することを重視した戦略を！**

対象となった 7つの分野



e-Japan戦略Ⅱ加速化パッケージ

2004年から問題点と優先すべき施策を明確にすることを重要視。
各府省の連携を一層強化して取り組むことを重視するように！

- (a) アジア等IT分野の国際戦略
- (b) セキュリティ（安全・安心）政策の強化
- (c) コンテンツ政策の推進
- (d) IT規制改革の推進
- (e) 評価
- (f) 電子政府・電子自治体の推進

ITの活用による国民の利便性の向上、行政の効率化や
電子自治体構築に向けた取組みの促進などを図る。

IT政策パッケージ-2005

目標に向けてのラストスパート
&
引き続き世界最先端であり続けるため

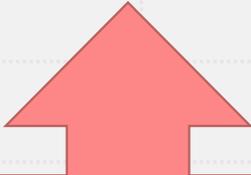
IT利用・活用を一層進め、国民がITによる変化と恩恵を実感できる社会の実現に向けて取り組むことを示したものの。

各分野において、どの府省庁がいつまでに何をするかを具体的に示す。

「u-Japan政策」

2006年以降に到来した本格的な少子高齢化社会
解決すべき課題の解決には、ICTの利活用が切り札となると期待！

総務省はユビキタスネット社会の実現に向け
2004年に「u-Japan政策」をとりまとめる。



2010年をターゲットとして、
次世代ICT社会の明確化
&
その実現へ向けて必要な政策パッケージ

〈u-Japan政策は次の特質を備えた次世代 ICT社会である〉

Ubiquitous

(ユビキタス)

- あらゆる人や物が結びつく

Universal

(ユニバーサル)

- 人に優しい心と心の触れ合い

User-oriented

(ユーザー)

- 利用者の視点が融けこむ

Unique

(ユニーク)

- 個性ある活力が湧き上がる

〈u-Japan実現のための三本柱〉

ユビキタス・
ネットワークの
整備

国民の100%が高速または超高速を利用可能に

ICT利活用の
高度化

国民の80%がICTは課題解決に役立つと評価
する社会に

利用環境整備

国民の80%がICTに安心感を得られる社会に

まとめ

バブル崩壊、平成不況により、IT革命の波に乗り遅れてしまった日本。

2001年 e-Japan 戦略、2003年 e-Japan戦略 II、2004年 e-Japan戦略 II 加速化パッケージ、2005年IT政策パッケージ-2005をはじめとする様々な政策により、世界最先端まで駆け上がることに成功し、今現在も更なる高みを目指している。